

検査技術科学専攻
森下 英理子

私たちの研究室は、血栓止血学を臨床・研究テーマとしています。血栓止血学は血球成分のみならず、血管や血管内を循環する血漿成分を対象とした学問です。全身の血管を対象としますので多くの他領域とも関連が深いのが特徴で、欧米では Vascular Medicine とも称されています。私達は次に示すようなテーマについて、最も力を入れて研究を行っています。

血栓性疾患の病態解析およびスタチン製剤の抗血栓作用機序の解明

最近、高脂血症治療薬である HMG-CoA 還元酵素阻害剤(スタチン)やフィbrate系製剤について、pleiotropic effect としての凝固線溶系への効果を研究しています。

先天性凝固異常症の遺伝子解析

一般的には先天性凝固因子欠損症では出血傾向を、凝固阻止因子欠損症では血栓傾向を呈することが知られています。そのような異常を呈する症例について家族を含めて遺伝子解析を行い、その変異部位の同定を行います。さらには、組み換え DNA の手法を用いて異常分子を作成し、その機能解析を行い、凝固機構の解明に取り組んでいます。

DIC 病態解析と治療法の改善

DIC 研究に関しては、医学科の血栓止血グループとの共同研究で、動物 DIC モデルを用いて病態解析および新規治療薬の効果の検討を行っています。

抗リン脂質抗体症候群(APS)の病態解析・臨床

APS 研究についても、医学科の血栓止血グループとの共同研究を行っており、不育症、血栓症の病態解析や、抗リン脂質抗体の新しい測定法の開発に取り組んでいます。

Our research theme is “Thrombosis and Hemostasis”.

Current research topics are listed below:

1. Evaluation of antithrombotic effects of HMG-CoA reductase inhibitors (statin)
2. Genetic and molecular analysis of congenital hemorrhagic and thrombotic disorders
3. Analysis of the pathogenesis and improvement of treatment for DIC
4. Analysis of the pathogenesis and clinical management of antiphospholipid syndrome